

ラリーガイド1



FORUM8 RALLY JAPAN 2025
RALLY-JAPAN.JP



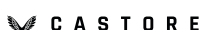
Title Partner



Gold Partner



Bronz Partners



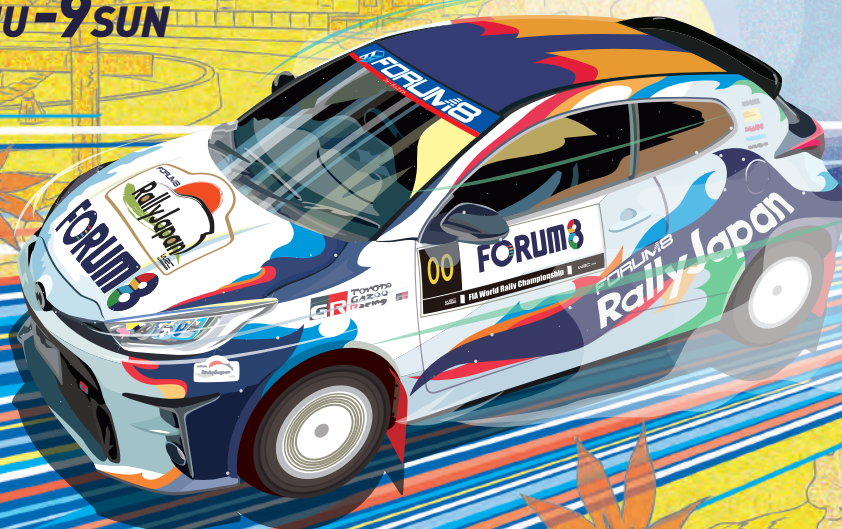
FORUM8 Rally Japan 2025

2025 FIA WORLD RALLY
CHAMPIONSHIP ROUND13

AICHI/GIFU 11.6THU-9SUN

WRC
FIA FIA WORLD RALLY
CHAMPIONSHIP

FORUM8
フォーラムエイト



フォーラムエイトラリージャパンを
タイトルパートナーとして応援!

FORUM8 WRC2 MOST
STAGE WINS
AWARD

フォーラムエイトが
優秀なWRC2ドライバー
を称える表彰制度



フォーラムエイト・ラリージャパン

メタバース 2025 今年も公開決定!

FORUM8 Rally Japan Metaverse 2025

株式会社フォーラムエイト 東京本社 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティ A棟21F
Tel (代表) 03-6894-1888 (営業窓口) 0120-1888-58 E-Mail f8tokyo@forum8.co.jp

(日本国内) 東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・金沢・岩手・宮崎・沖縄・虎ノ門・群馬・神戸
(海外拠点) 上海・蘇州・青島・台北・ハノイ・韓国・オーストラリア・アイルランド・ロンドン・イタリア・ケンブリッジ

株式会社フォーラムエイト

 **FORUM8**
www.forum8.co.jp



ラリージャパンは環境に配慮した 持続可能な大会運営を目指します



ラリージャパン2025環境政策

ラリージャパン2025実行委員会は、FIA世界ラリー選手権フォーラムエイト・ラリージャパン2025の開催に際して、環境保全の必要性を認識し、その責任を果たすため環境負荷の把握、最小化に取り組みます。また、関係者と環境配慮の価値観を共有し、意識向上にも努めます。

1. 国際及び国内の法的枠組みに従い環境要件の遵守に努めます。

2. 関係者とともに、環境に配慮した取組を推進します。

(1) 環境にやさしい大会づくり

- ・大会で使用するエネルギーは、積極的にクリーンエネルギーを活用します。
- ・大会で発生する廃棄物を可能な限り抑えるとともに、効果的な分別や処理を実施し、リサイクルとリユースを推進します。
- ・観客等にゴミの分別や持ち帰りの協力を適切に案内します。
- ・環境に影響を及ぼす排水は適切に回収・処理します。また水の使用を最小限に抑えます。
- ・サプライヤーと連携し、環境に配慮した持続可能な調達を目指します。
- ・大会運営で使用する資材は、積極的に環境配慮素材を活用します。
- ・実行委員会メンバー及び関係者（サプライヤー、メディア関係者、観客等）に対し、公共交通機関の利用及び乗り合いを推奨します。
- ・大会全体の炭素排出量を測定するとともに発生要因等を分析し、2030年までにカーボンニュートラルを目指します。

(2) 山林保全

- ・この地域では長年にわたり、人の営みにより森林保全に努めてきたため、林道等を活用したラリー競技を開催することができます。この競技を通じて、山村の魅力を国内外に発信し、森林が果たす役割を伝えていきます。
- ・定期的な環境調査を実施し、動植物の生態系環境へ影響を与えないように努めます。

(3) 子どもたちへの教育

- ・小中学生等に、FIA世界ラリー選手権を題材とした持続可能な社会について考える機会を作ります。

3. FIA環境認証プログラムに照らし合わせて私たちが定めた環境目標と環境政策を年に1回適切に評価・管理し、継続的に改善するために必要な措置を講じます。

2025年6月
太田 稔彦
ラリージャパン2025実行委員会会長



参加者の皆様へ - 環境に配慮してください



土壌汚染を避けるため、以下の対策を講じる必要があります。

- 車両と発電機の下には必ずマットを敷くこと。
- 主催者の規定に従って部品を洗浄する。
- 危険な液体容器（燃料ドラム、キャニスターなど）の下にこぼれ防止トレイを置く。



無駄な水の使用は避ける。



廃棄物は規則に従って適切に分別すること。

歴代優勝者 ラリー・ジャパン 2004年～2024年

年	開催都市	優勝者	車両
2004	帯広／北海道	P. ソルベルグ／P. ミルズ	スバル・インプレッサWRC 2004
2005	帯広／北海道	M. グロンホルム／T. ラウティアイネン	プジョー307 WRC
2006	帯広／北海道	S. ローブ／D. エレナ	シトロエン・クサラWRC
2007	帯広／北海道	M. ヒルボネン／J. レーティネン	フォード・フォーカスWRC
2008	札幌／北海道	M. ヒルボネン／J. レーティネン	フォード・フォーカスWRC
2010	札幌／北海道	S. オジェ／J. イングラシア	シトロエンC4 WRC
2022	愛知／岐阜	T. ヌービル／M. ウィデガー	ヒョンデi20N ラリー1



2023	愛知／岐阜	E. エバンス／S. マーティン	トヨタGRヤリスラリー1
------	-------	------------------	--------------



2024	愛知／岐阜	E. エバンス／S. マーティン	トヨタGRヤリスラリー1
------	-------	------------------	--------------



目次

1. ようこそ	6
2. 連絡先	7
2.1 常設連絡先	7
2.2 主要オフィシャル	7
2.3 大会本部ラリーHQ	7
2.4 スポーティングオフィス／ウェルカムセンター	7
2.5 メディア連絡先	7
3. プログラムと重要な期限	8
3.1 大会前のスケジュール	8
3.2 大会期間中のスケジュール	8
3.3 ラリーHQ、メディア施設、ウェルカムセンターの開場時間	10
4. エントリーの詳細	11
4.1 FIAタイトル- WRC	11
4.2 FIAタイトル - APRC	11
4.3 エントリー受付基準及び締切日	11
4.4 競技者最大エントリー数	11
4.5 クラス - FIA WRCカテゴリー	12
4.6 クラス - FIA APRCカテゴリー	13
4.7 ナショナル／リージョナルカー	13
4.8 エントリーフィー - WRC	14
4.9 エントリーフィー - APRC及びナショナルクラス	14
4.10 プライベートテスト	14
4.11 非FIA登録チームとAPRCチームのエントリーパッケージ	14
4.12 共催イベント	14
5. サービスパーク	15
5.1 サービスパーク情報	15
5.2 サービスパークの施設	15
5.3 サービススペースと場所のリクエスト	16
5.4 環境、リサイクル、廃棄物処理	16
5.5 サービスパークへのアクセス	16
6. 無線	17
7. 燃料／タイヤ	17
7.1 FIA燃料	17
7.2 FIA燃料の注文方法	17
7.3 リフューエル	17
7.4 リモートリフューエルゾーン	17
7.5 セーフティ燃料タンク	17
7.6 FIA燃料サンプルカップリング	17
7.7 タイヤ（路面：ターマック）	18
8. 車両およびスベア部品の輸入・日本国内での走行について	18
8.1 外国登録車の国内公道での運転	18
8.2 車両に関する規則と保険	19
8.3 日本の運転事情	20
9. ヘリコプター	21
9.1 登録プロセス	21
9.2 ヘリコプター・サプライヤー	21
9.3 ドローン	21

10. ホスピタリティ	21
11. 宿泊施設	21
12. メディア	22
12.1 イベント開催前の連絡先	22
12.2 FIAパーマネントパス保持者	22
12.3 国際的な出版社、カメラマン、ラジオ、インターネットメディア	22
12.4 テレビ	22
12.5 国内出版社、カメラマン、ウェブサイト、ラジオ	22
13. メディカル&セーフティサービス	23
13.1 緊急連絡先	23
13.2 医療サービス	23
13.3 牽引	23
13.4 薬局（サービスパーク近くのドラッグストア）	23
14. お役立ち情報	24
14.1 空港 - 中部国際空港（NGO）	24
14.2 電車	24
14.3 タイムゾーン	24
14.4 日の出／日の入り	24
14.5 平均気温／雨天日数	24
14.6 通貨	24
14.7 税金	24
14.8 チップ	24
14.9 電気	24
14.10 携帯電話	24
14.11 大使館	25
14.12 ビザ	25

附則A - アジア・パシフィック・ラリー選手権

A-1 概要	26
A-2 タイトル	26
A-3 スケジュール	26
A-4 エントリー詳細	26
A-5 タイヤとホイール	26
A-6 燃料	27
A-7 安全装備	27
A-8 表彰	27

本書は情報提供のみを目的としたものであり、規則的な拘束力はありません。

1. ようこそ

「フォーラムエイト・ラリージャパン2025」の開催にあたり、多くの関係者の皆様に御理解と御協力をいただき御礼申し上げます。

愛知・岐阜での開催も今年で4年目となり、本大会がこの地域で浸透してきていると感じています。今大会では、サービスパークとなる豊田スタジアム近隣でスーパースペシャルステージを設けるほか、春と秋に花を咲かせる「四季桜」で知られる豊田市小原地区で新たなステージを設定しました。地域の皆様が日々手入れをされている美しい里山が舞台となり、世界トップレベルの選手とチームの皆様によって繰り広げられる大迫力のラリー競技を、今年もこの地で行えることを嬉しく思っております。

今大会のコンセプトは「体感するラリー」です。競技ステージの観戦だけでなく、リエゾン区間での応援やサービスパークでの車両整備の様子など、ファンの皆様に様々な場面でラリーの魅力を存分に御堪能いただけるよう、準備を進めてまいります。

また、選手やチームの皆様が実力を最大限に発揮できるよう、万全の安全対策と円滑な大会運営に努めますので、多くの皆様の御参加を心よりお待ちしております。

本年も「FIA 世界ラリー選手権 フォーラムエイト・ラリージャパン2025」を開催できますことを、大変嬉しく思います。開催にあたりまして、愛知県・岐阜県の5市1町の自治体の皆様をはじめ、地域の皆様の多大なるご理解とご協力に、心より御礼申し上げます。

ラリーという競技は、公道を舞台に、車とドライバーが極限に挑む壮大なモータースポーツです。運転免許があれば誰もがハンドルを握れますが、ラリーにおける走りはまったく別次元。市販車をベースにした車両が持つポテンシャルを最大限に引き出し、ドライバーとの「人車一体」で、スピードと精度を競い合います。その迫力と緊張感は、他のモータースポーツにはない魅力です。

2023、2024年には、公道だけでなく豊田スタジアムを活用したスーパーSSが加わり、観戦スタイルにも新たな広がりが生まれました。本年は、よりチャレンジングなスペシャルステージを追加し、見どころ満載の構成となっております。現地でしか味わえない興奮を、ぜひ五感で体感してください。

また、本大会の開催にあたり、全国から多くのオフィシャル・競技団・関係スタッフの皆様、そして多くのボランティアの方々にご尽力をいただいております。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

「FIA 世界ラリー選手権 フォーラムエイト・ラリージャパン2025」を通じて、より多くの方にモータースポーツの素晴らしさを感じていただければ幸いです。どうぞ最後まで、熱いご声援をよろしくお願いいたします。



太田 稔彦

ラリージャパン2025
実行委員会会長
豊田市長



関谷正徳

ラリージャパン2025
組織委員会委員長
TMSC会長

2. 連絡先

2.1 常設連絡先

ラリージャパン大会事務局

豊田市ラリーまちづくり課
471-8501 愛知県豊田市西町3-60
Tel: +81 (0)565 34 6950 Fax: +81 (0)565 32 9779

ラリー競技事務局

NPO法人モスコ
471-0025 愛知県豊田市西町1-200
Tel: +81 (0)565 41 3316 Fax: +81 (0)565 41 3319

電子メール

info2025@rally-japan.jp
*ホスピタリティと宿泊のサポート

entry@rally-japan.jp

*競技者のお問い合わせ先

ウェブサイト

<https://rally-japan.jp/en>

X:

@WRC_RallyJapan

フェイスブック

2020rallyjapan

インスタグラム

rally_japan

2.2 主要オフィシャル

大会事務局長

中神泰次

yasuji-nakagami@rally-japan.jp

大会事務局次長

高島圭太

keita-takashima@rally-japan.jp

競技長

高桑春雄

h-takakuwa@rally-japan.jp

競技事務局長

高橋浩司

k-takahashi@rally-japan.jp

ロジスティックマネージャー

高先伸枝

n-takasaka@rally-japan.jp

サービスパークマネージャー

川田 輝

a-kawada@rally-japan.jp

2.3 大会本部(ラリーHQ)

スカイホール豊田

471-0861 愛知県豊田市八幡町1-20

ウェブサイト: <https://www.toyota-taikyo.or.jp>

大会本部は10月31日(金)から11月10日(月)までオープンします。

詳しい時間は3.3項をご確認ください。

2.4 スポーティングオフィス／ウェルカムセンター

豊田参合館2F NPO法人MOSCO

471-0025 愛知県豊田市西町1-200

*ウェルカムセンターでは、参加確認前のチームやサプライヤーに事前に必要な駐車証やクレデンシャルを配布します。また大会期間を通じてゲストやマーシャルのためのクレデンシャル、駐車許可証などを提供します。

開館時間については3.3項をご参照ください。11月2日(日)は参加確認のため休館となりますので、大会本部へお越しく下さい。

2.5 メディア連絡先

FIAメディア・デレゲート

Tom Wood twood@fia.com

ナショナル・プレス・オフィサー

三浦正人 masato-miura@rally-japan.jp

3. プログラムと重要な期限

3.1 ラリーウィーク前のスケジュール

7月6日（日）
ラリーガイド1の発行 - ウェブサイト
8月16日（土）
無線免許申請およびヘリコプター登録の締切
8月18日（月）
特別規則書の発行 - ウェブサイト
8月28日（木）
ハンコックタイヤの注文締切
FIA燃料の注文締切
9月6日（土）
エントリー受付開始
メディア登録受付開始
9月26日（金）
臨時運行許可申請書の締切
10月6日（月）
エントリー締切（23:59 CET）
レッキのみの登録締切
10月9日（木）
ラリーガイド2の発行 - ウェブサイト
10月13日（月）
エントリーリスト公開 - デジタル掲示板
10月16日（木）
ラリージャパン・ナショナル・プレス・オフィサーへの申請締切
10月22日（水）
FIAメディア・デレゲートへの登録申請締切

3.2 ラリーウィークのスケジュール

10月31日（金）		
12:00 - 20:00	サービスパーク・オープン（マニファクチャラー）	豊田スタジアム
15:00 - 20:00	サービスパーク・オープン（FIAプライオリティチーム）	豊田スタジアム
11月1日（土）		
7:00 -	サービスパーク・オープン（全参加者）	豊田スタジアム
15:00 - 20:00	プライベートテスト参加者向け臨時運行許可証配布	ラリーHQ
11月2日（日）		
9:00 - 15:00	プライベートテスト	池田線（豊田市）
9:00 - 19:00	参加確認（時間指定による）	ラリーHQ
13:00 - 14:00	プロモーション（指名されたP1とP2ドライバーと車両）	名古屋市栄地区

11月3日 (月)		
6:00 - 16:30	レッキ1日目	
11月4日 (火)		
6:00 - 16:00	レッキ2日目	
12:00	ルートノートカー登録締切 (ラリー1/ラリー2クルー対象)	ラリーHQ
15:00 - 18:30	ラリーカー用FIAセーフティトラッキングデバイス配布	SASオフィス - サービスパーク
11月5日 (水)		
6:00 - 15:30	レッキ3日目	
9:00 - 12:00	ラリー1車両の車検とシーリング	各チームのサービスベイ
13:00 - 16:00	救出訓練	TBA - スカイホール・トヨタ
14:00 - 19:00	その他の全車両の車検と部品シーリング	豊田スタジアムB2駐車場 車検エリア
未定	タバードメディア・セーフティブリーフィング	会議室 - 豊田スタジアムB2
16:00	WRCチームマネージャーミーティング (招待者のみ)	会議室 - 豊田スタジアムB2
19:00	ドライバーズ・セーフティ・ブリーフィング - この年初めてWRCに参戦するクルー対象	会議室 - 豊田スタジアムB2
19:20	2025年に初めてWRCに参加するすべてのプライオリティクルーを対象とした、WRCプロモーターによるドライバーとコ・ドライバーの写真撮影。ヘルメットとオーバーオールが必要。	メディアセンター
20:00	シェイクダウンスタートリスト発行 セクション1スタートリスト発行	デジタル掲示板
11月6日 (木)		
9:01 - 10:30	シェイクダウン - WRC P1と指名ドライバー	鞍ヶ池公園
10:31 - 12:30	シェイクダウン - すべての優先ドライバー	鞍ヶ池公園
12:31 - 14:00	シェイクダウン: P1を除く全ドライバー	鞍ヶ池公園
未定	FIA WRC メディアペン	未定
未定	サイン会	未定
15:40 (予定)	セクション1スタート	豊田スタジアム
17:00	ヘリコプター・パイロット・ブリーフィング	ラリー本部
18:00	セクション2スタートリスト発行	デジタル掲示板
18:00	ラリージャパン・オープニングセレモニー	豊田市駅停車場線
18:30 - 19:00 (予定)	FIA ミート・ザ・クルー - 指名されたドライバー、コ・ドライバー、チーム代表が参加	豊田市駅停車場線
11月7日 (金)		
5:38	セクション2スタート	豊田スタジアム
18:30 - 19:00 (予定)	FIA ミート・ザ・クルー	ファンゾーン
20:00	セクション4スタートリスト発行	デジタル掲示板

11月8日（土）		
6:00	セクション4 スタート	豊田スタジアム
18:30 - 19:00 （予定）	FIA ミート・ザ・クルー - メーカーチーム代表とトップ3ドライバー	ファンゾーン
21:00	セクション7 スタートリスト発行	デジタル掲示板
11月9日（日）		
6:51	セクション7 スタート	豊田スタジアム
14:15	ウルフ・パワーステージ	三河湖
15:15	パワーステージ表彰式	下山（まどいの丘）
16:30	表彰式・プライズギビング	豊田スタジアム
17:00	再車検	豊田スタジアムB2駐車場 車検エリア
17:00 - 20:00	臨時運行許可証およびナンバープレートの返却	コンペティターレセプション - サービスパーク
17:30 - 19:00	FIAセーフティ・トラッキングデバイスの返却	SASオフィス - サービスパーク
19:00	暫定結果発表	デジタル掲示板

3.3 ラリーHQ、メディア施設、ウェルカムセンターの開場時間

日付	曜日	ウェルカムセンター	ラリーHQ	メディア受付	メディアセンター
10月31日	金	09:00-17:00	09:00-19:00		
11月1日	土	09:00-17:00	09:00-19:00		
11月2日	日	CLOSE	08:00-20:00		
11月3日	月	09:00-17:00	08:00-20:00		
11月4日	火	09:00-17:00	08:00-20:00	14:00-18:00	14:00-18:00
11月5日	水	09:00-17:00	08:00-20:00	08:00-18:00	08:00-20:00
11月6日	木	09:00-17:00	08:00-21:00	08:00-18:00	08:00-*
11月7日	金	09:00-17:00	06:00-21:00	-	06:30-*
11月8日	土	09:00-17:00	06:00-22:00	-	06:00-*
11月9日	日	09:00-12:00	06:00-20:00	-	06:30-*
11月10日	月	-	09:00-12:00	-	-

*利用者の最終退出まで

4. エントリーの詳細

4.1 FIAタイトル – WRC

FIA世界ラリー選手権 ドライバー/コ・ドライバー部門
 FIA世界ラリー選手権マニファクチャラー部門
 FIA WRC2選手権 ドライバーズ&コ・ドライバーズ部門
 FIA WRC2 チャレンジャー選手権 ドライバーズ&コ・ドライバーズ
 FIA WRC2選手権 チーム部門
 FIA WRCマスターズカップ ドライバー&コ・ドライバー
 FIA WRC3選手権 ドライバー&コ・ドライバー部門

4.2 FIAタイトル – APRC

FIAアジア・パシフィックラリー選手権 ドライバー/コ・ドライバー部門
 FIAジュニアAPRC選手権 ドライバー部門
 FIAマスターAPRCドライバー選手権
 FIA APRC3 ドライバーズ&コ・ドライバーズ選手権
 FIA APRC4 ドライバーズ&コ・ドライバーズ選手権
 *Asia Cupポイント対象イベント

4.3 エントリー受付基準および締切日

FORUM8 Rally Japan 2025への参加を希望する者は、[FIA のウェブサイト](#)から入手可能なオフィシャルデジタルエントリーフォームをエントリー締切日までに提出しなければなりません。デジタルフォームの送信により、競技者は本大会に関わる諸規則を遵守する制約となります。競技者は、参加確認の際にエントリーフォームに署名しなければなりません。

APRC にエントリーする競技者は、このラリーガイドの附則Aの要項を参照してください。APRC 登録フォームは大会ホームページ（下記リンク）から入手してください。

<https://rally-japan.jp/rj/competitors/document/>

ナショナルクラスにエントリーする競技者は、エントリー受付開始後に大会ウェブサイトから入手可能な個別のエントリーフォームを使用してください。

すべてのエントリー用紙は、10月6日（月）23:59（中央ヨーロッパ時間）のエントリー締切必着です。（日本時間のマイナス9時間）。

4.4 競技者最大エントリー数

最大エントリー数は60台です。エントリー数が60台を超えた場合、主催者は参加枠を拡大するか、もしくはノンプライオリティ・ドライバーから受理するエントリーを選定する権利を有します。

車両は、2025年FIA WRC競技規則第12条4項のクラス（およびグループ）に分けられます。

4.5 クラス – FIA WRCカテゴリー

2025 FIA WRC競技規則 第12.4条 車両クラス

クラス	グループ	
RC1	ワールドラリーカー :1.6Tエンジン	- Rally1 2025年附則J項262に適合した車両 - ワールドラリーカーは、2021年附則J項255A条に従い、かつ過去5シーズンのWRCマニファクチャラーチーム（5.3条に定義されたWRCチームではない）でポイントを獲得しておらず、255A-334条に適合したリストラクターを装着している場合。ただし以下のaとbの場合を除く a) リストラクターの最大内径は33.7mm b) 最も狭い点でのリストラクターの最大径は39.7mm以下で、左右各5mmの距離を維持している
RC2	グループラリー2 グループラリー2キット	- 2025年附則J項261条に適合したグループラリー2車 - 2025年附則 J項260Eに適合したラリー2キットカー
RGT	RGTカー	- 2019年附則J項256条に適合するグループRGT車、 - 2025年附則J項256条に適合するグループRGT車、
RC3	ラリー3（排気量1390cc以上 2000ccまで、ターボは 927ccから1620cc）	- 2021年1月1日以降にホモロゲートされた2025年附則J項260条に適合するグループラリー3車両
RC4	ラリー4（1390cc以上 2000ccまで、ターボは 927cc以上1333ccまで）	- 2019年1月1日以降にホモロゲートされ2025年附則J項260条に適合したグループラリー4車両 - 2018年12月31日以前にホモロゲートされ、2018年附則J項260条に適合したグループR2車両
	R3（排気量1600cc以上 2000ccまで、ターボは 1067cc以上1333ccまで）	- 2019年12月31日以前にホモロゲートされ2019年附則J項260条に適合したグループR車両
	R3（ターボ/1620cc以下）	- 2019年12月31日以前にホモロゲートされ2019年附則J項260D条に適合したグループR車両
RC5	ラリー5（排気量1600ccまで、 ターボ車は1333ccまで）	- 2019年1月1日以降にホモロゲートされ2025年附則J項260条に適合したグループラリー5車両
	ラリー5キット（排気量またターボつき 1600cc以下）	- 2024年1月1日以降にホモロゲートされたグループラリー5キット車であり、2025年附則J項260B条に適合していること
	ラリー5（排気量1600ccまで、 ターボは1067ccまで）	- 2018年12月31日以前にホモロゲートされ2018年附則J項260条に適合したグループR1車両

4.6 クラス - FIA APRCカテゴリー

2025 FIA リージョナルラリー競技規則 第12.1条 車両クラス

***赤文字**のグループについては本大会においてはAPRC NATクラスとしてエントリーとなります

*NATクラスにはJR1, JR2, JR3車両もエントリー可能ですが、エントリー要件は附則Aを参照ください。

クラス	グループ	
RC2	グループラリー2	- 2025年附則J項261条に適合するラリー2車両
	グループラリー2キット (VR4K)	- 2025年附則J項260E条に適合のR4キット装着車
	グループNR4 2000cc以上	- 2019年附則J項254条に適合のグループN車
	S2000ラリー:大気圧2.0ℓ	- 2013年附則J項254A条に適合するスーパー2000車両
	グループR4 (VR4)	- 2018年附則J条適合のグループR4車。260
RGT	RGTカー	- 2019年附則J項256条に適合するグループRGT車両 - 2025年附則J項256条に適合するグループRGT車両
RC3	ラリー3 (排気量1390cc以上2000ccまで、ターボは927ccから1620cc)	- 2021年1月1日以降にホモロゲートされた2025年付則J項260条に適合するグループラリー3車両
RC4	ラリー4 (1390cc以上2000ccまで、ターボは927cc以上1333ccまで)	- 2019年1月1日以降にホモロゲートされ2025年附則J項260条に適合したグループラリー4車両 - 2018年12月31日以前にホモロゲートされ、2018年附則J項260条に適合したグループR2車両
	R3 (排気量1600cc以上2000ccまで、ターボは1067cc以上1333ccまで)	- 2019年12月31日以前にホモロゲートされ2019年附則J項260条に適合したグループR車両
	R3 (ターボ/1620cc以下)	- 2019年12月31日以前にホモロゲーションされ2019年附則J項260D条に適合したグループR車両
	グループA 2000cc以下	- 2019年附則J項255条に適合のグループA車
RC5	ラリー5 (排気量1600ccまで、ターボ車は1333ccまで)	- 2019年1月1日以降にホモロゲーション化され2025年附則J項260条に適合したグループラリー5車両
	ラリー5キット (排気量またターボつき1600cc以下)	- 2024年1月1日以降にホモロゲートされたグループラリー5キット車であり、2025年附則J項260B条に適合していること
	ラリー5 (排気量1600ccまで、ターボは1067ccまで)	- 2018年12月31日以前にホモロゲーションされ2018年附則J項260条に適合したグループR1車両
NAT	- ASNによってホモロゲーションされた車両で、2025年附則J項253条に準拠し、ナショナル/リージョナルカー受理書を提出することによりFIAから承認された車両。	

4.7 ナショナル/リージョナルカー

JAFが承認し、FIAに提案した車両は、FIA WRC競技規則第12.3条の規定に基づいてエントリーすることができる。ただし、これらの車両は2025年FIA国際スポーツ規則附則J項253条に規定されるセーフティ要件に完全に適合していなければならない、また2025年FIA WRC競技規則 (タイヤ、再スタート規則など) に規定されているその他のすべての適用可能な規定および手続きに従わなければならない。

クラス	排気量	グループ
JR1	2500cc以上	*グループNR4 2000cc以上
		*AP4/JP4
		*2500cc以上のJAF公認RJおよびAPRC車両
JR2	1600cc以上2500cc以下	*1600cc以上2500cc以下の自然吸気車で、JAF規則RJおよび日本で認可されたAPRC車両
		*942ccから1600ccまでの過給機付きの2WD車で、JAF規則RJおよび日本で認可されたAPRC車両
JN3	1600cc以下	*自然吸気1600cc以下のJAF規則RJおよび日本で認可されたAPRC車両

4.8 エントリーフィー – WRC

WRCプロモーターとラリージャパン実行委員会の合意に基づき、FORUM8ラリージャパン2025は、WRC全選手権（WRC、WRC2、WRC2チャレンジャー、WRCマスターズカップ、WRC3（FIA WRC競技規則による））を含むFIA登録マニュファクチャラーおよびWRCチームのエントリーフィーが免除されます。

ただし、APRCにもエントリーするクルーは、APRCにエントリー登録し、個別のエントリーフィーを支払うこと。

4.9 エントリーフィー – APRCおよびノンプライオリティドライバー

下記料金には10%の消費税が含まれております。

WRCエントリーフィー 880,000 円

APRC登録料+エントリーフィー 660,000円

4.10 プライベートテスト

プライベート・テストは以下の要領で実施されます。

実施日: 2025年11月2日（日）

時間: 9:30～11:30／13:00～15:00

場所: 池田～鞍ヶ池（豊田市）

参加資格: RC1クラスを除く競技者

参加料金: 88,000円（税込）／台

プライオリティドライバーは参加費が免除される。

*8:30～9:30／12:30～13:00（ラリーカーによるレッキを認める）

詳細およびお申し込みは、ラリーガイド2をご覧ください。

4.11 非FIA登録チーム／APRCのみ参加チームのエントリーパッケージ

サービススペース	サービスパーク内エリア	6m × 6m	
車両プレート	サービス車両プレート	1	
	補助プレート（通行駐車証）	1	
アドミニストレーション	特別規則書	ウェブサイト	
	ラリーガイド2	ウェブサイト	
	ロードブック・セット	2	
	ルートマップ	2	
	オフィシャル・プログラム	5	
イベント主催者パス	チーム／クルー・パス	6	豊田市SSS／ 岡崎公園SSSへの 観客エリア入場可
	ゲスト・パス	2	

追加料金 – 全競技者対象（税込）

サービスパーク追加スペース: 77,000円 / 1平米

チーム・クルー追加パス: 22,000円

追加ゲストパス: 22,000円

レッキのみの参加: 165,000円

補助プレート1枚 55,000円

すべての追加スペースのリクエストは、空き状況と主催者の同意によります。主催者は、FIA WRC競技規則附則VIに記載されている以上のサービススペースを保証することはできません。

4.12 共催イベント

ACCR（アルペン・クラシックカー・ラリー）が共催されます。詳細は[ACCRウェブサイト](#)にて後日発表されます。

5. サービスパーク

5.1 サービスパーク情報

サービスパークは豊田スタジアムの駐車場で、GPS座標は以下の通り：

N35 05 04.4 E137 10 15.4

住所：〒471-0016 愛知県豊田市千石町7-2

サービスパークの最終的なレイアウトや詳細な情報は、後日ウェブサイトで公開されます。

マニファクチャラーチームは10月31日（金）12:00よりサービスパークに入場できます。

マニファクチャラーチームを除くFIAプライオリティチームは、10月31日（金）15:00からサービスパークに入場できます。

ノンプライオリティチームは11月1日（土）7:00からサービスパークに入場できます。

10月31日（金）12:00から11月10日（月）12:00まで、サービスパークは24時間開放され、主催者が夜間警備を行います。ただし、10月31日～11月5日の20時以降は歩行者ゲートを閉鎖します。20時以降に出入りする場合は車両通行ゲートをご利用ください。

マニファクチャラーチームおよびその他の選手権参加チームは、2025年FIA WRC競技規則に従い、指定されたスペースが割り当てられます。

フレキシサービスは、2025年FIA競技規則第59条に基づき各日の最終サービスに適用されます。

11月9日（日曜日）午前6時までにサービスエリア施設を解体する場合は、サービスパーク内にラリー車両の通行がない時間帯に行わなければなりません。ただし、当該チームのエリア内（チームエリアの周辺区域）において、交通レーンやチーム外部エリアを使用せずに解体を行う場合を除きます。

5.2 サービスパークの施設

サービスパークでは以下の施設とサービスが無償で提供されます：

公衆トイレ

ゴミ回収 ※国内の参加者はゴミ・廃棄物のお持ち帰りをお願いします

常設照明（一部）

以下のものは、[事前予約](#)にて主催者が有料で提供できます：

-個別トイレ（FIA WRC競技規則附則VI参照）

-有害廃棄物収集

-追加の警備員配置

-電源（電気；100V 60Hz）

-給水（配置場所によります）

-テントおよび必要な事務用品

有料サービスのお申し込みや、サービスパーク・ファシリティ・オーダーフォームに記載のないものについては、お問い合わせください。サービスパーク・ファシリティ・オーダーフォームの締め切りは、10月10日（金）です。

締切後に受け付けたリクエストまたは申請は、追加料金の対象となり、その可否は利用可能状況および主催者との合意が必要となります。

注意：発電機について

- サービスパークに発電機を持ち込む場合、必ず事前に主催者を通じて消防本部に申請する必要があります。自家発電機を使用する場合は、必ず発電機届出書を事務局に提出してください。締切：10月10日（金）

- 消防本部は、各発電機の横に消火器を1本ずつ設置するよう指導しています（発電機1台につき消火器1本）。消火器は、「粉末ABC消火器」または「電気火災、油火災、普通火災用消火器」を使用

してください。

- 発電機の周囲に少なくとも1mの空きスペースを設けてください。
 - 発電機をカバーで覆うことは禁止されています。
 - 発電機の下にシートを敷き、燃料や油などが地面に漏れないようにする必要があります。消防本部の検査時にシートが敷かれておらず、主催者が対応を求められた場合、その費用は参加者の負担となります。
 - ガソリンの保管については、危険物仮貯蔵仮取扱い承認申請書等を提出する必要がある場合があります、別途費用を要します。主催者へご連絡ください。<entry@rally-japan.jp>
 - 発電機へ給油する軽油については、主催者へお申し込みください。都度直接給油いたしますので、軽油の保管はないことをご承知おきください。
- 大会期間中、豊田市消防本部が現地視察を行ないます。

5.3 サービススペースと場所のリクエスト

物流上の理由により、他の競技参加者と共同のサービスエリアを希望する参加者、またはサービスエリアの追加スペースを必要とするチームは、サービスパーク・ファシリティ・オーダーフォームへ記入の上、主催者に提出してください。主催者は、すべてのチームの要望に応えるよう合理的な努力を尽くします。サービスパークのレイアウトが決定次第、その後の変更は一切受け付けません。

追加のサービススペースは、利用可能状況と主催者の合意によります。主催者は、2025年FIA WRC競技規則及び大会特別規則書に定められた範囲を超えるサービススペースの確保を保証できません。

締切：10月10日（金）

5.4 環境、リサイクル、廃棄物収集

すべての参加者は環境保護の責任を負います。

- 廃棄物は主催者の指示に従って分別し、透明なゴミ袋に入れて指定の場所に持ち込んでください。国内の参加者は、廃棄物をご自身でお持ち帰りいただくようお願いします。
- すべての競技参加者は、ラリーカーの下にプラスチック製の地面保護マットを使用することが必須です。このマットは十分に強靱で、油、燃料、冷却液、ブレーキ液、バッテリー酸、廃水（車部品の洗浄水を含む）その他の液体に対して防水性である必要があります。燃料漏れが検出された場合、チームはラリー中にユニットとテントを解体する必要性が生じる可能性があります。
- サービスパークの舗装表面に穴を開けることは禁止されています。チームおよび参加者は、テントや固定が必要な物品用のウェイトを持ち込むようお願いします。穴が開いた場合、主催者はエリアを元の状態に戻すための費用をチームに請求します。

追加のオプション施設に関するものは、すべて事前の予約によります。これらのサービスが必要な参加者は、サービスパーク・ファシリティ・オーダーフォームを提出してください。

5.5 サービスパークへのアクセス

サービス車両/補助車両プレートおよび主催者から発行されたレッキ車両用プレートを装着した車両のみがサービスパークへのアクセスが許可されます。サービスパーク内にはこれらの車両を駐車するスペースはありません。サービスベイ内に駐車スペースを確保できない場合は、河川敷の指定された駐車エリアに駐車してください。

車両は、ボンネットに指定のステッカープレートを貼付し、明確に識別できるようにしてください。ステッカーはラリー終了まで剥がさないでください。

サービス車両/補助車両プレートは、エントリーパッケージに応じて発行されます。

6. 無線

日本では双方向無線の使用が厳しく規制されています。双方向無線通信機器の使用を希望される方は、8月16日(土)18:00(JST)までにラリー日本事務局<entry@rally-japan.jp>までご連絡ください。その際、無線機の周波数、型番、送信出力などのスペックをお知らせください。

7. 燃料／タイヤ

7.1 FIA燃料

すべてのドライバーは、FIAが指定したサプライヤーが提供するFIA燃料を使用しなければなりません。2025年FIA WRC競技規則第61条および第62条も参照のこと。

FIAが指定したサプライヤーは**Total Energies**です。供給、給油サービス、燃料のオーダーは**Sodifuel**が行います。

環境と安全面の観点から、競技参加者は指定された給油ゾーンで給油しなければなりません。サービスパークでの給油は禁止されています（2025年FIA WRC競技規則第58条に規定されている場合を除き、缶やドラム缶などからの給油は禁止）。

7.2 FIA燃料の注文方法

燃料注文書はウェブサイトに掲載されます。**2025年8月28日（木）**までにwrc@sodifuel.com宛にEメールで送付してください。

FIAの燃料費は1リットル当たり8.75ユーロ＋消費税です。クレジットカードによる支払い、または銀行振り込みによる前払いのみ受け付けます。銀行振込の場合、振込用紙のコピーを注文締切日までにSodiFuelまでお送りください。

燃料の注文方法に関するご質問は、wrc@sodifuel.com、またはFaiza Maillard（+33 6 14 66 12 90）まで直接お問い合わせください。

- ・シェイクダウン日の朝に公式に燃料供給が開始されるまで、テスト用に「50リッタードラム」ラインを用意します。（燃料スイッチ、キャリブレーション、車検での最小限の使用にも対応）

- ・「ポンプ供給燃料」ラインは、シェイクダウンからラリー終了までの間にRZに配分される事前注文/計算された量に対応するラインです。

7.3 リフューエル

FIA燃料給油は、ロードブックに記載された指定給油ゾーン（サービスパークおよび下記7.4条に記載された3つのリモート給油ゾーン）のみで行ないます。

すべての車両は安全上の理由から市販のポンプ燃料の給油が禁止され、このラリーではすべての車両がFIAの指定燃料を使用する必要があります。

7.4 リモートリフューエルゾーン

以下の3つのリモートリフューエルゾーン（FIA燃料のみ）が設けられます：

11月7日(金) 稲武／設楽のSS2&SS6後 [N35 06 00.2 E137 34 39.2](#)

11月8日(土) 恵那SS9&SS11終了後 [N35 44 97.0 E137 43 43.0](#)

11月9日(日) 岡崎中央総合公園のSS18終了後 [N34 95 99.1 E137 22 65.9](#)

7.5 セーフティ燃料タンク

全ての競技車両は、FIA国際スポーツ規則附則J項253.14に記載のFIA認証燃料タンクを装備する必要があります。FIAテクニカルリストNo.1も参照のこと。 www.fia.com/regulation/category/761
<https://www.fia.com/homologations>

燃料タンクには、FIA指定の給油カップリング（FIA WRC競技規則62.3.2条）を装着しなければなりません。

7.6 FIA燃料サンプルカップリング

FIAセーフティ燃料タンクを装備している車両は、FIA燃料サンプルカップリングを装着しなければなりません。FIA WRC競技規則62.3.5条およびFIAテクニカルリストNo.5を参照のこと。

7.7 タイヤ(路面:ターマック)

すべての競技参加者は、タイヤの使用に関して2025年WRC競技規則第13条に従ってください。

FIAは、2025年世界ラリー選手権の指定タイヤサプライヤーは以下の通り：

ハンコックタイヤ&テクノロジー (Hankook Tyre & Technology Co. Ltd.)

13494 韓国京畿道城南市盆唐区 <https://www.hankooktyre.com/global/en/home.html>

マンフレッド・サンドビヒラー(Manfred Sandbichler)

携帯電話+49 15116222126 E-MAIL：racing@hankook.com

スティーブン・チョー(Steven Cho)

携帯電話：+82 1020032787 E-MAIL：steven@hankook-competition.com

4WD車でエントリーする競技参加者は、ハンコックから供給されたタイヤを使用しなければなりません（これはAPRC及びナショナルクラスにエントリーした4WD車にも適用されます）。

2WD 車についてはタイヤメーカーの制限はありませんが、2025 年 WRC 競技規則第13.3.1条および第 13.3.2条を遵守しなければなりません。RGT車については、第13.4.1条および第13.4.2条を参照のこと。

ハンコックへのタイヤ注文は、遅くとも8月28日（木）までに、ラリージャパンのウェブサイトにあるフォームから行なってください。

8. 車両およびスペア部品の輸入・日本国内での走行について

8.1 外国登録車の国内公道での運転

日本国外で登録された競技車両、レッキ車両、サービス車両を走らせるためには、主催者を通じて国土交通省から臨時運行許可証（臨時ナンバープレート）の交付を受けなければなりません。臨時運行許可申請には、自動車登録書類、自動車検査証が必要です。申請に時間がかかりますので、エントリー締切前の9月30日18:00までに必要書類のコピーを下記までお送りください。

外国登録車の国内公道での運転に関しては、主催者を通じて国土交通省から臨時運行許可証（臨時ナンバープレート）の交付を受ける必要があります。なお、臨時運行許可ナンバープレートの取得には、別途費用が必要となりますのでご注意ください。また、正確かつ迅速な対応のため、日本国内での輸出入および輸送は、必ずラリージャパンのオフィシャル貨物代理店（下記参照）を通すよう、参加者側の貨物代理店にお伝えください。連絡がない場合は、主催者は臨時ナンバープレートをご用意することができません。

なお、臨時運行許可ナンバープレートの取得には、別途費用が必要となりますのでご注意ください。また、正確かつ迅速な対応のため、日本国内での輸出入および輸送は、必ずラリージャパンのオフィシャル貨物代理店（下記参照）を通すよう、参加者側の貨物代理店にお伝えください。連絡がない場合は、主催者は臨時ナンバープレートをご用意することができません。

(1) ATAカルネ 車両/工具/部品/タイヤ（イベント主催者側で再輸出するもの）、販促品に使用できます。ATAカルネで輸入された物品は、ラリー終了後、全て再輸出されます。

(2) 送料は、ラリージャパン2025のオフィシャル貨物代理店である株式会社クリエイト・トランスにご確認ください。

重要なお知らせ

1) ガス入りショックアブソーバーを含む高圧ガスボンベ、その他の危険物、食品、食器、医療品等の輸入を希望される方は、特別な許可を得る必要があります。さらに、主催者は必要な許可を得るための支援を提供することはできません。したがって、これらの物品は輸入するよりも現地

で調達することを強く推奨します。主催者は、窒素ガスやアルゴンガスの販売、溶接機などのレンタルを手配する予定です。

2) コンテナ搬入日は10月31日を予定しております。前日までに通関が完了し、この日にお届けできるよう、船便の手配を運送会社にご依頼ください。

3) コンテナは11月12日に撤去される予定です。11月12日16:00までに完全に撤去されるようお願いいたします。

4) 主催者およびオフィシャル貨物代理店は、船舶の遅延等によって発生した追加費用については一切責任を負いません。

ラリージャパンの海上貨物、航空貨物、輸送については、下記のオフィシャル貨物代理店にお問い合わせください：

株式会社クリエイト・トランス

TEL: +050 7112 3202

森井真一 Eメール<shin@create-t.com>

8.2 車両に関する規則と保険

FORUM8ラリージャパン2025に参加する車両は、FIA国際スポーツ規則附則J項に別段の定めがある場合を除き、道路運送車両法、道路交通法等の国内関係法令およびJAF国内競技規則（照明装置、騒音等）を遵守しなければなりません。

また、FORUM8 Rally Japan 2025に参加する車両（ラリーカー、レッキ車両、サービスカー）は、以下の(a)自賠責保険、(b)自動車保険（競技会車両は有効な保険）に加入する必要があります。

(a) 自賠責保険 日本の公道を走る自動車（ラリーカーやレッキカー、サービスカーなど）は、国内法で自賠責保険への加入が義務付けられています。

日本国内登録車以外は、ラリージャパン事務局が自賠責保険加入手続きを行なうため、保険料相当額（10,000円）の支払いが必要です。

(b) 自動車保険 ラリーカー、レッキカー、サービスカーの対人・対物接触、ドライバー及びコ・ドライバーの死傷などを補償します。

FIAプライオリティドライバー（ラリーカー、レッキカー - 臨時運行許可証にて国内を走行する一時輸入車両 - を含む）は、ラリージャパン事務局にて自動車保険の加入手続きを行ってください。ノンプライオリティドライバーは、ラリージャパン事務局を通じて申し込むか、エントリーフォームとともに個人で加入した有効な保険証券を提出してください。

個人で自動車保険に加入される場合は、以下の条件を満たしていることをご確認ください。

[自動車保険の要件]

保険契約は契約条件を満たし、賠償責任保険および傷害保険として有効でなければなりません。

- 対人賠償責任保険： 支払限度額無制限。
- 対物賠償責任保険支払限度額： 20億円以上
- 人身傷害保険： 支払限度額は無制限。

*ラリーカーの場合、ラリー競技会中の事故も補償の対象となること。

ラリージャパン事務局を通じて車両保険の加入を希望するノンプライオリティドライバーは、ラリージャパン2025のウェブサイトに掲載されるフォームから申し込んでください。

保険料は年齢や保険期間によって異なります。

◆保険料（保険期間 15 日間）

	レッキ車両	競技車両
35 才以上	¥14,000	¥190,000
26 才以上	¥15,000	¥220,000
21 才以上	¥25,000	¥340,000
全年令	¥35,000	¥500,000

10月6日（月）のエントリー締め切りを申請期限とします。

8.3 日本の運転事情

日本で運転するには、以下のいずれかの免許が必要です（道路交通法第64条、第107条の2）。

1. 日本の運転免許証

2. 日本で有効な国際運転免許証

日本国内での運転に有効と認められるのは、1949年ジュネーブ条約の加盟国が同条約の規定に従って発行した国際運転許可証（IDP）のみです。1969年ウィーン条約を含む他の条約に基づくIDPは、1949年ジュネーブ条約の加盟国によって発行されたものであっても無効です。

[道路交通に関する条約、ジュネーブ、1949年9月19日]：

[国連ウェブサイト](#)

[警視庁ホームページ](#)

また、以下の条件を満たす必要があります：

- a) IDPの有効期限は発行日から1年間で、IDPを所持しての運転は入国日から1年間です。
- b) 日本に住民登録がある場合、再入国前に連続3ヶ月以上海外で過ごさなければなりません。（道路交通法第107条の2）

3. 日本で有効な外国運転免許証

スイス、ドイツ、フランス、ベルギー、モナコ、台湾で発行された運転免許証は、以下の条件で日本国内でも有効です：

- a) ライセンスには、政令で定められた当局が提供する日本語訳が添付されていること。

政令で定める当局とは以下の通り：

- 1. 免許発行機関、発行国の在日大使館・領事館など
- 2. 日本自動車連盟（JAF）
- 3. 日本台湾交流協会（台湾免許保持者向け）
- 4. ドイツ自動車連盟（ADAC）（ドイツ免許保持者向け）
- 5. ZIPLUS co., Ltd.

- b) 入国から1年未満であること

- c) 道路交通法第107条の2に規定されている、いわゆる「3ヶ月ルール」に違反していないこと

注：ラリージャパン事務局はJAFへの日本語翻訳申請を代行します。申請料12,000円（翻訳料、諸経費等含む） 申込締切日2025年9月19日（金）

連絡先：entry@rally-japan.jp

JAFが発行する翻訳文の有効期限は運転免許証と同じですので、運転免許証の有効期限まで使用することができます。ただし、運転免許証の更新時や、住所変更など運転免許証の記載事項に変更があった場合は、再度翻訳を受ける必要があります。

4. 自国の免許を日本の免許に切り替える（上記1以外の場合）

外国の行政機関の免許証発給を受けている場合は、その免許で運転できる自動車について、試験の一部を免除して日本の免許の取得を申請することができます。（道路交通法第97条の2第3項）

注）FORUM8 Rally Japan 2025に参加するドライバーおよびコ・ドライバーに限り、ラリージャパン事務局による日本の運転免許証の取得支援を行っています。お早めにご相談ください。

応募締め切り2025年10月6日（月）

連絡先：entry@rally-japan.jp

役立つリンク

[外国運転免許証と国際運転許可証 日本で有効な運転免許証](#)

[日本での自動車の運転 交通ルール](#)

[ルールズ・オブ・ザ・ロード](#)

[警察庁交通局](#)

9. ヘリコプター

9.1 登録プロセス

ラリーをサポートするために飛行するすべてのヘリコプターは、主催者に登録されていなければなりません。ラリー空域を管理するための標準プロトコルが設けられ、登録された航空機のみがこの空域での飛行を許可されます。ヘリコプター登録料が必要です。スペシャルステージとサービスパークを含む着陸地点のスケジュールとGPS座標は後日発表されます。パイロット・ブリーフィングへの出席は全パイロットの義務です。

ヘリコプターの登録受付は、8月16日（土）18:00(UTC+9h)に締め切られます。

連絡先 entry@rally-japan.jp

9.2 ヘリコプター・サプライヤー

ラリー・ジャパンにヘリコプターを納入するサプライヤーは以下の通り：

エアロトヨタ株式会社 真山陽一 youichi-mayama@aerotoyota.co.jp	セントラルヘリコプターサービス株式会社 斎藤貴広 takahiro-saitou@central-heli.co.jp
---	--

9.3 ドローン

航空法では、国土交通大臣の許可・承認が必要な空域や方法（特定飛行）で飛行する場合は、一般的に飛行許可・承認の手続きが必要です。

また、適切な許可や承認を得ずに無人航空機を飛ばせば、禁固刑や罰金刑に処される可能性もあります。

<https://www.mlit.go.jp/koku/drone/en/>

10. ホスピタリティ

ホスピタリティパッケージをご希望の方は、ぴあDAIMANIホスピタリティエクスペリエンス（PDHX/ぴあ）までお問い合わせください。

スーパールーム（個室）やラリーカー同乗、周辺観光などのアクティビティなど、ビジネスシーンに合わせたカスタマイズが可能です。

info.pd hx@pia.co.jp

11. 宿泊施設

JTB三河支店は、大会主催者の旅行・現地手配代理店です。空港送迎、宿泊、レンタカー、食事、コーディネーターなどの手配を行ないます。***宿泊費は参加費に含まれません。**

国内外からの宿泊予約は、以下のメールアドレスに必要事項（宿泊日、人数など）をお送りください；

Eメール rally_travel@jtb.com

12. メディア

12.1 イベント開催前の連絡先

FIA WRCメディア・デレゲート：トム・ウッド (Tom Wood)

携帯電話 +33 6 32 29 29 82

Eメール twood@fia.com

ウェブサイト www.fia.com

ナショナル・プレスオフィサー：三浦正人

携帯電話 090 3902 1555

Eメール masato-miura@rally-japan.jp

ウェブサイト <https://rally-japan.jp/en>

12.2 FIAパーマネントパス保持者

事前の申請などは必要ありませんが、FIAメディア・デレゲートとナショナル・プレスオフィサーの両方に、パス保持者がイベント主催者に参加する意思を伝える必要があります。遅くとも公式車検の5日前までにEメールにてご連絡ください。

12.3 国際的な出版社、フォトグラファー、ラジオ、インターネットメディア

国際的な出版社、写真家、ウェブサイトからのメディア認定要請はすべて、10月22日（水）までに、www.fia.comのオンライン認定システムを使ってFIAに提出しなければなりません。

12.4 テレビ

すべてのテレビメディアの認定については、放送局およびネットワークは2025年10月22日（水）までにWRCプロモーターに連絡してください：accreditation@wrc.com

12.5 国内出版社、カメラマン、ウェブサイト、ラジオ局

日本国内の会社・組織およびラジオ、ウェブサイトを代表する個人からの取材申請は、9月6日（土）から10月16日（木）までにラリージャパンのナショナル・プレスオフィサーまでお申し込みください

申請要項と申請フォームは、イベント開催が近づいたタイミングで大会ウェブサイトにて公開されます。

イベント主催者まで申請書に添付書類を添えて、オンラインで下記まで提出してください。

media-rj@rally-japan.jp

注1：認定されたウェブサイトメディアにはジャーナリストのクレデンシャルが1枠だけ与えられ、フォトグラファーは認定されません。

注2：FORUM8 Rally Japan 2025に出場するチームのメディア関係者は、WRCプロモーターを通じて申し込んでください：accreditation@wrc.com

13. メディカル & セーフティサービス

13.1 緊急連絡先

救急車／消防車	119
警察	110

13.2 医療サービス

愛知医科大学病院

愛知県長久手市岩作雁又1-1

N35 11 29.4 E137 02 55.8

Tel: 0561 62 3311 www.aichi-med-u.ac.jp/hospital/

岐阜大学医学部附属病院

岐阜県岐阜市柳戸1-1

N35 28 06.9 E136 44 01.1

Tel: +058 230 6000 www.hosp.gifu-u.ac.jp

13.3 牽引

ロードセクションで使用されるすべての牽引サービスは、たとえそのサービスが大会主催者のリソースを使用して実施されたとしても、競技参加者の負担となります。

ラリージャパン事務局が手配する保険に加入している場合、サービスパークまでのレッカー移動は保険の対象となります。

ラリージャパンが推奨する牽引サプライヤーは以下の通り：

JAF Roadside Assistance Tel: +0570 00 8139 (コールセンター)

主催者手配の自動車保険加入者の牽引サービス 電話：0120 096 991 (コールセンター)

13.4 薬局(サービスパーク近くのドラッグストア)

	場所 (GPS座標)	電話	営業時間
V. ドラッグ拳母店	N35 05 02.0 E137 09 46.0	0565 37 8855	9:00 - 21:00
スギ薬局陣中店	N35 05 40.0 E137 09.52.4	0565 85 8810	10:00 - 22:00
ドラッグスギヤマ 美里店	N35 04 58.0 E137 10 52.1	0565 87 1171	10:00 - 21:00
スギ薬局美里店	N35 04 26.4 E137 10 54.0	0565 87 3571	9:00 - 24:00
スギ薬局元宮店	N35 04 20.4 E137 09 49.0	0565 36 0160	9:00 - 22:00

14. お役立ち情報

14.1 空港 – 中部国際空港 (NGO)

中部国際空港は、2025年6月現在、国際線20都市、国内線18都市に就航するアジアのハブ空港の一つです。中部国際空港は名古屋の中心部から車で40分、名鉄快速電車で30分以内の場所にあります。

名鉄バスはセントレア空港と豊田市を結ぶ空港バスも運行しています。

詳細は下記ウェブサイトを参照

<http://www.meitetsu-bus.co.jp/airport/toyota>

14.2 電車

名古屋は、東京から約100分、大阪から約50分と、新幹線でのアクセスが良い都市です。名古屋駅から豊田スタジアム（豊田市駅）までのアクセスは[豊田スタジアムのホームページ](#)を参照。電車で約70～80分です。

14.3 タイムゾーン

日本のタイムゾーンはJSTです。UTC+9時間（11月）

14.4 日の出／日の入り

11月6日の豊田市 日の出6:17 / 日没16:52

14.5 平均気温／雨天日数

最高気温17℃/最低気温6℃ 11月の平均雨天日数6日（豊田市）

14.6 通貨

通貨は日本円（JPY/¥）。紙幣と硬貨は簡単に識別できる。

紙幣は1,000円、2,000円、5,000円、10,000円紙幣、硬貨は1円、5円、10円、50円、100円、500円。

6月16日現在の為替レート：1€ = 約167円 / 1US\$ = 144円 / 1£ = 196円。

外貨は空港で日本円に両替することをお勧めします。豊田市内では豊田信用金庫で取り扱いがありますが、手続きに時間がかかる場合があります。

14.7 税金

日本の消費税（標準税率）は10%。酒類・外食を除く一部の食料品の軽減税率は8%。すべての値札には税込みの総額表示が義務付けられていますが、そうでない場合もあります。

14.8 チップ

日本ではチップの習慣はほぼありません。

14.9 電気

日本で一般的に使用されている電圧は100ボルトで、愛知県の周波数は60Hzである。プラグはアメリカやカナダと同じAタイプ。

14.10 携帯電話

最新の携帯電話のほとんどは日本で使用可能ですが、古い携帯電話の多くは技術が異なるため使えない場合があります。日本にはGSMネットワークがないため、GSMのみの携帯電話は使えません。

14.11 大使館

日本の外務省のウェブサイトをご確認ください。

在日外国公館: https://www.mofa.go.jp/about/emb_cons/over/index.html

大使館・領事館: www.mofa.go.jp/about/emb_cons/over/index.html

14.12 ビザ

日本は2025年6月16日現在、72の国・地域に対して査証免除措置を講じています。ご自身のパスポートが査証免除の対象となるかどうか、必ずご確認ください。ビザの申請が必要な場合は、最寄りの日本大使館・領事館にお問い合わせください。

外務省 - ビザの免除 https://www.mofa.go.jp/j_info/visit/visa/index.html

A-1 概要

本ラリーはFIA世界ラリー選手権（WRC）およびFIAアジア・パシフィックラリー選手権（APRC）ファイナルとの併催となります。ラリーはFIA WRC競技規則およびその附則、ラリージャパン2025特別規則書に則って行われ、APRCにエントリーした競技参加者は原則としてWRCとAPRCの両選手権のポイント候補となります。2025年FIAリージョナルラリー競技規則3.1.5により、APRCにエントリーするクルーは、2025年FIA WRC競技規則が優先されます。

APRCにエントリーする資格はAPRCに登録していること、また今年少なくとも1回APRCカップに参加したクルー、または自国のASNから推薦されたクルーでなければなりません。APRCは、WRCと同様に11月6日（木）から9日（日）までの4日間開催されます。APRCの最終優勝者は、日曜日の最終セッションの結果発表後に表彰されます。

2025APRC登録フォーム <https://fiaaprc.com/competitor-information/>

A-2 タイトル

FIAアジア・パシフィックラリー選手権 ドライバー/コ・ドライバー部門
FIAジュニアAPRC選手権 ドライバー部門
FIAマスターAPRCドライバー選手権
FIA APRC3 ドライバーズ&コ・ドライバーズ選手権
FIA APRC4 ドライバーズ&コ・ドライバーズ選手権
*Asia Cup対象イベント（ポイント係数1.5）

A-3 スケジュール

3.1 ラリーウィーク前のスケジュール

基本的なスケジュールはWRCと同じ。

3.2 ラリーウィークのスケジュール

基本的なスケジュールはWRCと同じ。

A-4 エントリー詳細

4.1 エントリー車両とクラス分け

2025年FIAリージョナルラリー選手権規則第12条および本ラリーガイド4.6を参照。

但しWRCの併催により一部グループのカテゴリー分けが変更されます。4.6を参照。

また、2025年からグループNATが追加され、規定は以下の通り。

- ASNによってホモロゲーションされた車両で、2025年附則J項253に準拠し、国・地域別車両受理書の提出後にFIAが承認した車両。

4.2 エントリー方法

4.2.1-WRCとAPRCの両方に参戦する競技者

FIA WRC及びAPRCの両方にエントリーするクルーは、それぞれのフォームに必要事項を記入し、手続きを行ってください。FIAプライオリティに関わらず、APRC登録料と参加料は別途主催者に支払うこと。すでにAPRC登録が済んでいるクルー/チームは、競技事務局へお問い合わせください。

entry@rally-japan.jp

タイヤ、燃料などWRCとAPRCで規定が異なる項目については、WRCの規定を適用します。

4.2.2 APRCのみの競技者

APRCのみのエントリーは不可。WRCへの参加が前提となります。

4.2.3 APRC登録

大会ホームページよりダウンロードして右記にお送りください。 entry@rally-japan.jp

<https://rally-japan.jp/rj/competitors/document/>

4.3 エントリー数と受理数

全クラスを含めた総エントリー数の上限は60台とする。応募多数の場合は、WRCにエントリーしたFIAプライオリティドライバーを優先する。

4.4 参加費とパッケージ

WRCエントリーフィー（本規則4.6参照、プライオリティドライバーは免除される）およびのAPRC登録料+エントリーフィーを支払わなければなりません。エントリーパッケージは4.11を参照。

A-5 タイヤとホイール

タイヤとホイールに関するWRCレギュレーションが適用されます。すべての4WD車はハンコック指定のタイヤを装着しなければなりません。7.7参照

A-6 燃料

全ての車両はFIA指定の燃料を使用しなければなりません（7.1参照）。

A-7 安全装備

すべての車両は、国際スポーツ規則附則J項253.13条に適合するキルスイッチ、および253.7条に適合する消火システムを備えていなければなりません。

A-8 表彰

入賞者にのみ賞品が授与されます。表彰式は11月9日夕刻に行われます。詳細はラリーガイド2を参照のこと。

WRC FORUM8 RALLY JAPAN

日本での運転についての注意事項



交通ルールは国によって異なります。日本のルールに従い、安全運転を心がけてください。
モータースポーツが安全で模範的な運転エチケットの教育になるよう、マナーを守ってください。

- 日本はイギリスや他の国々と同様、**左側通行**です。
- **STOP標識**は完全な停止を意味します。
- 踏切も完全に停止する必要があります。
- **センターラインがオレンジ色**の場合、追い越しのための右側通行は禁止されています。**交差点内および交差点前での**追い越しも禁止されています。
- 渋滞中、前の車を追い越すために道路の右側を通過する（**逆走する**）のは非常に危険です。絶対にしないでください。
- 制限速度の標識がないところでは、**最高速度は時速60キロ**です。
- SS区間であっても**レッキ中は交通規制されておらず**、一般車両も走行していることをお忘れなく。
- 信号で**先頭に立つために右折レーン**を使うことは禁止されています。
- コンビニエンスストアの駐車場やガソリンスタンドを利用して、**信号待ちをショートカット**することは、事業者や施設からの苦情の原因となっています。
- **対向車線側の路側帯**に駐車することは禁止されています。
- **トイレの場所**は**ロードブック**に記載されています。場所をわきまえてください！
- ラリーカーだからといって、リエゾン区間での特権意識（優先権）を持たないこと。**法律で定められたルールや、走行条件から除外されることはありません。**
- 違反が確認された場合、厳しく**監視**され、**罰則が課せられます。**





WRC FORUM8
RALLY JAPAN 2025

11.6^{THU}
— 9^{SUN}